

心のとびら

弥富市立桜小学校
道徳通信 No.51
平成29年3月10日

6年生を送る会



3月2日（木）1時間目に6年生を送る会を行い、お世話になった6年生への感謝の気持ちを伝えることができました。出し物タイムでは、それぞれの学年で練習してきた出し物を行いました。6年生の思い出の曲を使っていたり、メッセージを伝えたりするなど、精一杯思いを伝えようとする姿が見られました。6年生へのプレゼントである「しおり」は、1年生から5年生が協力して作成したものです。もうひとつのプレゼントである、歌「Best Friend」を聴いた6年生は、感激した表情を見せていました。

いろいろな出し物やプレゼントを受けて、6年生はこれまで桜小で過ごしてきたことの思い出や感謝について語りました。そして、手作りのフォトフレームと、歌「Wish」を贈りました。会場全体があたたかな気持ちで包まれる素敵な会になりました。



6年生のみなさんがもうすぐ卒業して中学校に行くので、感謝の気持ちをこめてがんばりました。ダンスもはじめてのときより上手くできるようになりました。（1松）

1年生は、6年生に一番お世話になった学年なので、一生懸命やりました。6年生にがんばってほしいと思いました。6年生のことを忘れません。（1竹）

ぼくにとって6年生はヒーローです。いつも通学団で安全に学校まで来ることができます。6年生ありがとうございました。（2松）

6年生を送る会では緊張したけれど、うまくできたので嬉しかったです。気持ちが6年生に伝わっていいなと思いました。（2竹）

6年生の顔を見ると、泣きそうになりました。6年生の歌声は、とてもきれいで、思い出すと、とても良い気持ちになります。（2梅）



歌っているとき、みんなが6年生へ気持ちをこめているのがわかりました。一番よかったのは、みんなが一生懸命だったことです。ありがたい気持ちが伝えられたと思います。（3竹）

エーデルワイスを演奏するとき指の位置を間違えないようにし、歌を歌うときは6年生に届くように歌いました。他の学年の発表を見ていて、すごく心にしみました。（3松）





PPAPでは、6年生が笑ってくれるか心配だったけれど、6年生だけでなく他の学年も笑ってくれたので、安心しました。みんなと仲良く楽しくやれてよかったです。(4松)

発表しているとき、緊張で足が震えました。みんなの前で踊るので、恥ずかしかったけれど、6年生の笑顔を見ることができて、よかったです。(4竹)

姿勢や、声をそろえることを頑張りました。6年生がいなくなってしまうと思ったら、とてもさみしくなり、6年生のために卒業式を成功させたいという気持ちが高まりました。(5松)

来年は、ぼくたちが6年生になるので、今の6年生の良いところを受け継いで頑張りたいです。いつまでも、6年生のすばらしいところを忘れないでいたいです。(5竹)



私たちのために、下級生が一生懸命に歌やリコーダーの演奏をしたり、ダンスをしたりしてくれて、優しい桜小学校だなとあらためて感じました。こんなにも心優しい桜小のみんなと離れたくない、という気持ちが強くなりました。みんな、私たちのために今日まで練習してくれたんだと思うと、とても嬉しくなりました。この小学校の6年生で幸せです。(6松)

今までの6年生は、ちゃんと私たちの発表を聞いてくれていたから、私たちもちゃんと発表を見て、感謝の気持ちを受け取ろうと思いました。たくさんのなつかしいダンスや歌を披露してもらって、とても嬉しかったです。最後には、自分たちの歌で恩返しをすることができ、感謝の気持ちをこめて歌うことができました。みんなが一生懸命な桜小でよかったです。(6竹)

